

## 令和５年度 茨城県地域就職氷河期世代支援加速化事業 効果検証

### （１）事業概要

就職氷河期世代の正社員化を促進するためには伴走型の支援が必要であることから、地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用し、茨城県が県内６カ所で設置・運営している「いばらき就職支援センター」において、専任の相談員を４名配置し、就職氷河期世代の求職者にキャリアカウンセリングや合同就職面接会などの就職支援サービスを提供することで、正社員就職を支援する。

### （２）効果検証

○交付対象事業の重要業績評価指標（ＫＰＩ）実績

指標名	令和５年度目標値	令和５年度実績
「いばらき就職支援センター」において就職支援を実施した氷河期世代の者*の正社員就職決定件数（件）	７０人	７４人

※概ね３６～５１歳の者。以下同。

○取組について

- ・いばらき就職支援センター（全６カ所）において、就職氷河期世代向けの相談窓口を設けて、相談対応を行った。

令和５年度実績	実利用者数	就職決定者数	うち、正社員就職
全体	２，９８０人	９５５人	１９２人
うち、氷河期世代	９７５人	２９９人	７４人

- ・就職氷河期世代等を対象とした合同就職面接会（別紙参照）を１０回開催し、地元企業とのマッチングを行った。

実績	回数	参加企業数	参加者数	就職内定者数
令和５年度	１０回	１９４社	３０２人	２５人

○取組効果について

- ・令和５年度の雇用情勢は、物価高騰に起因する経済の先行き不透明感により、一部産業で採用選考には慎重な様子が見受けられた。
- ・求職者の側では、利用実人数が令和４年より５１名減の９７５名となったものの、延べ利用件数は９５８件増の６，８４７件となり、新型コロナの影響から脱して、就職意欲が高い様子が見受けられた。
- ・実利用人数が減少した結果、就職実績は令和４年度より２８人少ない２９９人となったが、利用者の就職意欲が高いため、正社員就職決定件数は、１２名人の７４人となった。

### （３）公表について

本効果検証等を茨城県ホームページ上で公表する。